

Protest against Korean Cyber Terrorism on Japan and the United States

On March 1, some 100,000 Korean web users cyber-attacked the world's largest BBS, or 2 Channel of Japan.

They banded together and succeeded in silencing 2 Channel.

THIS IS NOTHING BUT CYBER TERRORISM, AND WE FIRMLY PROTEST AGAINST THIS VULGAR ACT.

In Vancouver winter Olympics, a Korean figure ice-skater Miss Yuna-Kim won the gold medal. Koreans found some comments on a thread of 2 Channel suggesting a possibility of unfair win concerning Miss Kim's gold medal. These comments made some Koreans furious.

We think that these comments are rather un-appropriate ones lacking civility.

However, we have to denounce the wicked action by Korean cyber terrorists to silence 2 Channel. If they did not like these comments, they could have participated in the debate. But, they did not.

Cyber terror should not have been their response.

2 Channel is sometimes a controversial website; nonetheless, it is the world's largest Bulletin Board System, where persons, sometimes staying anonymous, exchange their opinions freely.

More than one million people are using 2 Channel everyday.

2 Channel is the biggest public cyber space for freedom of speech in the world.

Therefore, the international cyber terrorism against 2 Channel is assault on freedom of speech in Internet and freedom of speech in general.

Freedom of speech is a basis on which democracy is built. Accordingly, we also consider this cyber terrorism to be an attack on democracy.

Damages are international.

The company running 2 Channel exists in Singapore, and its server computer is located in the U.S. This company is managing websites of some U.S. government agencies. They suffered damages, too.

The FBI reportedly has started investigation on this criminal case.

We urge the Japanese governments to follow the FBI.

WE CALL FOR JUSTICE.

WE UNITE OUR VOICES TO ACCUSE THOSE OFFENDERS OF THEIR CYBER TERRORISM TO DENY FREEDOM OF SPEECH AND DEMOCRACY.

March 5, 2010

Gemki Fujii (Political Scientist)

(If you agree with me, please autograph **THIS PROTEST.**)

Signers to Support This Protest :

和訳：**Protest against Korean Cyber Terrorism on Japan and the United States**
日本とアメリカへの韓国のサイバー・テロに反対する抗議文

3月1日、約10万人の韓国のネットユーザーが、世界最大のインターネット掲示板である日本の「2ちゃんねる」に対してサイバー攻撃を加えました。

彼らは、共謀して、2ちゃんねるを機能停止に追い込む事に成功しました。

この行為は、サイバー・テロリズムそのものであり、私達はこの卑劣な行動に強く抗議します。

バンクーバーの冬季オリンピックで、韓国のフィギュア・スケートのキム・ヨナ選手が金メダルを取得しました。2ちゃんねる上のスレッドに、キム・ヨナ選手の金メダル獲得に関して不正が行なわれた可能性があるとのコメントが寄せられ、それを韓国人が発見しました。彼らはそのコメントに激怒しました。私達は、これらのコメントが礼節を欠くものであり、適当なものとは思っていません。しかし、2ちゃんねるをダウンさせた韓国のサイバー・テロリスト達による悪意に満ちた行動を、我々は非難せざるを得ません。もし彼らが、そういったコメントを快く思わないのであれば、討論に参加する事も出来たはずですが、彼らはそうはしませんでした。

彼らはサイバー・テロという、誤まった反応の仕方をするべきではありませんでした。

2ちゃんねるは、時折、物議を醸すウェブ・サイトではありますが、しかし、それは世界最大のNET掲示板であり、そこにおいては人々が、時には匿名のまま、自由に意見を交換する事が出来ます。

毎日、100万人以上の人々が、2ちゃんねるを利用しています。2ちゃんねるは、言論の自由の為の、世界最大の公的なインターネット上の空間です。

それ故に、2ちゃんねるに対する国際的なサイバー・テロは、インターネット上の言論の自由に対する、そして言論の自由一般に対する攻撃に他なりません。

デモクラシーは、言論の自由という基礎の上に築かれます。それ故に、我々は、このサイバー・テロリズムをデモクラシーに対する攻撃とも受け止めています。

このサイバー・テロによる被害の拡がりは国際的です。

2ちゃんねるを運営している会社は、シンガポールに存在し、そのサーバ・コンピュータはアメリカに置かれています。当該企業は、いくつかのアメリカの政府機関のWEBサイトの管理も行なっています。それ故に、アメリカの政府機関もまた、このサイバー・テロにより、被害をこうむりました。

アメリカの連邦捜査局（FBI）は、既に、この刑事事件に関する調査を始めたと報道されています。

我々は、日本政府もまた、FBIに倣って、同様の行動をとるように主張したいと思います。

我々は、法的な正義の実現を強く要求します。

我々は声を合わせて、言論の自由とデモクラシーを否定するサイバー・テロを行なった犯罪者たちの責任を追及するものです。

平成22年(2010年)3月5日 藤井厳喜 (政治学者)

(※ 私の上記の抗議文に御賛同くださる方は、どうぞ、御署名をお願い致します。)

抗議文を支持する署名者：